

一般質問とは、議員が市の行政事務全般について市の見解を問うものです。

令和5年6月定例会

一般質問

令和5年6月12日から15日までの4日間にわたって、18人の議員が合計36項目の質問を行いました。

- ◆議員が質問を届け出た順に掲載しています。
- ◆掲載項目などは質問を行った議員がそれぞれの判断で選択しています。
- ◆質問の詳細については、録画映像もしくは8月下旬に公開予定の議事録をご覧ください。



所有者不明土地を生み出さない
宗像志政クラブ/石松 修



問 所有者不明土地が増加しているが市の対応は。

答 所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法に市の努力義務が示されている。戸籍謄本の収集サポートやおくやみコーナーでの法定相続情報証明制度(※1)、相続登記の周知に努めている。また、市役所内の関係部署や外部の関係機関と横断的に連携し、終活に向けた支援にも取り組んでいく。

問 使用済みおむつの処分
保育所などの使用済



問 所有者不明土地が増加しているが市の対応は。

答 みおむつの処分状況は。保育所などでは令和5年2月時点の8園が、4月には11園に増えている。残る6園については、おむつを持ち帰らなくても、子どもの健康状態を共有できる方法を検討してもらおうと呼びかける。また、おむつ用ごみ箱の購入費用助成など、課題解決に向けた支援を行いたい。



地域と共にある学校
未来むなかた/北崎 正則



問 学校施設の保守点検の方法は。

答 各学校施設の日々の点検は教職員が行い、消防設備などの専門分野は業者に委託している。



問 現在、建設中の城山中学校には、コミュニティ・スクールの観点を取り入れているか。

答 生徒と地域住民が共に学び合う場の地域連携室や多目的室を配置した。

問 文部科学省は、学校施設の老朽化対策の一つとして、施設の集約化・複合化などを掲げている。本市においても検討しているか。

答 地域住民の意見を聴きながら検討している。

問 新型コロナウイルス感染症がら類感染症に移行した後も、事業者の相談体制を継続することは重要であると考えますが、市の見解は。

答 事業者からの相談に丁寧に対応できるように、今年度以降も専門家相談窓口継続に向けた補助金交付など、商工会と連携しながら対応しよう。



アフターコロナの経済対策
宗像志政クラブ/石田 和代志



問 チャットGPTの活用について

問 チャットGPTなどの生成AIは、今後自治体においても普及していくと考ええる。チャットGPTの活用について



問 総合的な鳥獣対策の考えは。

答 捕獲従事者や地域住民の意見を聴取しながら、鳥獣捕獲の効率化への取り組みを検討しよう。



有害鳥獣対策について
宗像志政クラブ/木藤 裕司

問 ホタルの里公園の維持管理の課題は。

答 池の中の木道が経年劣化により損傷・破損しており、現在通行止めの対策をとっている。

問 出島形式の空間スペースを整備することはできないか。

答 地元と十分協議し、最善の対策を考えていきたい。



自治会の在り方と行政の支え方
宗像志政クラブ/安部 芳英



問 宗像市総合計画策定の中で、自治会のあるべき姿や対策について具体的な記載が必要では。

答 コミュニティ基本構想・基本計画策定の中で、しっかりと議論していく必要がある。

問 コミュニティ施策の開始から29年が経過し、地区の人口推移、高齢化率も変化しており、自治



陸上養殖の取り組みについて
宗像志政クラブ/小林 栄二



問 今後のウニプロジェクトの取り組みは。

答 今年度は場所を鐘崎に移し、企業が事業化に向けた実証事業を行っている。企業は来年度以降の量産化に向けて取り組んでおり、宗像漁協も交えながら引き続き連携し取り組んでいく。また、販路の確保や付加価値向

問 雨の日や荷物が多いうちに車両が集中し、人の往来に危険が生じているため、利便性を損なうことがないよう、島民を中心に協議を進め、理解や協力をしてもらう必要がある。



DXで市民・職員の負担軽減を
公明党/石松 和敏



問 今後のマイナンバーカード交付率の見込みは。

答 まずは80%を超えるよう努めていきたい。

問 サンリブ宗像店でのマイナンバーカード申請サポートはいつまで実施する予定か。

問 問短縮や職員の負担軽減につながるかと考える。

問 市内の外国人労働者・児童の現状と課題は。

問 学校の支援体制は。



外国人労働者・児童への対応は
宗像志政クラブ/吉田 剛

問 児童の現状と課題は。

答 今後も外国人労働者受け入れは増加する見込みのため、行政サービスの周知などが重要になってくる。また、日本語指導が必要な児童生徒は20人おり、日本語の説明だけではうまく理解できないなど課題がある。

問 県費で日本語指導教員を1人、市の学力向上支援員から指導員として1人配置しよう。

問 市費で日本語指導教員を配置すべきか。

答 必要な人員配置を行いたい。人材確保に注力する。

地域伝統行事の継承は
宗像志政クラブ/吉田 剛

問 コロナ禍は地域伝統行事の存続危機と継承する価値を明らかにした。

答 継承に向けた国の支援制度の情報提供や手続きの支援などに努めたい。

その他の質問
定住施策について

問 コミュニティ施策の開始から29年が経過し、地区の人口推移、高齢化率も変化しており、自治

答 コミュニティ施策の開始から29年が経過し、地区の人口推移、高齢化率も変化しており、自治

大島港ターミナル付近の混雑解消について
宗像志政クラブ/小林 栄二

問 混雑解消に向けての課題は。

答 雨の日や荷物が多いうちに車両が集中し、人の往来に危険が生じているため、利便性を損なうことがないよう、島民を中心に協議を進め、理解や協力をしてもらう必要がある。

有償ボランティアの活用について
宗像志政クラブ/石田 和代志

問 有償ボランティアの活用について

答 有償ボランティアの活用について

出島形式の空間スペース
宗像志政クラブ/木藤 裕司

問 出島形式の空間スペースを整備することはできないか。

答 地元と十分協議し、最善の対策を考えていきたい。

チャットGPTの活用について
宗像志政クラブ/石田 和代志

問 チャットGPTなどの生成AIは、今後自治体においても普及していくと考ええる。チャットGPTの活用について

答 チャットGPTなどの生成AIは、今後自治体においても普及していくと考ええる。チャットGPTの活用について

DXで市民・職員の負担軽減を
公明党/石松 和敏

問 今後のマイナンバーカード交付率の見込みは。

答 まずは80%を超えるよう努めていきたい。

有害鳥獣対策について
宗像志政クラブ/木藤 裕司

問 総合的な鳥獣対策の考えは。

答 捕獲従事者や地域住民の意見を聴取しながら、鳥獣捕獲の効率化への取り組みを検討しよう。

アフターコロナの経済対策
宗像志政クラブ/石田 和代志

問 チャットGPTの活用について

答 チャットGPTなどの生成AIは、今後自治体においても普及していくと考ええる。チャットGPTの活用について

地域伝統行事の継承は
宗像志政クラブ/吉田 剛

問 コロナ禍は地域伝統行事の存続危機と継承する価値を明らかにした。

答 継承に向けた国の支援制度の情報提供や手続きの支援などに努めたい。

大島港ターミナル付近の混雑解消について
宗像志政クラブ/小林 栄二

問 混雑解消に向けての課題は。

答 雨の日や荷物が多いうちに車両が集中し、人の往来に危険が生じているため、利便性を損なうことがないよう、島民を中心に協議を進め、理解や協力をしてもらう必要がある。

有償ボランティアの活用について
宗像志政クラブ/石田 和代志

問 有償ボランティアの活用について

答 有償ボランティアの活用について

出島形式の空間スペース
宗像志政クラブ/木藤 裕司

問 出島形式の空間スペースを整備することはできないか。

答 地元と十分協議し、最善の対策を考えていきたい。

チャットGPTの活用について
宗像志政クラブ/石田 和代志

問 チャットGPTなどの生成AIは、今後自治体においても普及していくと考ええる。チャットGPTの活用について

答 チャットGPTなどの生成AIは、今後自治体においても普及していくと考ええる。チャットGPTの活用について

DXで市民・職員の負担軽減を
公明党/石松 和敏

問 今後のマイナンバーカード交付率の見込みは。

答 まずは80%を超えるよう努めていきたい。

有害鳥獣対策について
宗像志政クラブ/木藤 裕司

問 総合的な鳥獣対策の考えは。

答 捕獲従事者や地域住民の意見を聴取しながら、鳥獣捕獲の効率化への取り組みを検討しよう。

アフターコロナの経済対策
宗像志政クラブ/石田 和代志

問 チャットGPTの活用について

答 チャットGPTなどの生成AIは、今後自治体においても普及していくと考ええる。チャットGPTの活用について

地域伝統行事の継承は
宗像志政クラブ/吉田 剛

問 コロナ禍は地域伝統行事の存続危機と継承する価値を明らかにした。

答 継承に向けた国の支援制度の情報提供や手続きの支援などに努めたい。

大島港ターミナル付近の混雑解消について
宗像志政クラブ/小林 栄二

問 混雑解消に向けての課題は。

答 雨の日や荷物が多いうちに車両が集中し、人の往来に危険が生じているため、利便性を損なうことがないよう、島民を中心に協議を進め、理解や協力をしてもらう必要がある。

有償ボランティアの活用について
宗像志政クラブ/石田 和代志

問 有償ボランティアの活用について

答 有償ボランティアの活用について

出島形式の空間スペース
宗像志政クラブ/木藤 裕司

問 出島形式の空間スペースを整備することはできないか。

答 地元と十分協議し、最善の対策を考えていきたい。

チャットGPTの活用について
宗像志政クラブ/石田 和代志

問 チャットGPTなどの生成AIは、今後自治体においても普及していくと考ええる。チャットGPTの活用について

答 チャットGPTなどの生成AIは、今後自治体においても普及していくと考ええる。チャットGPTの活用について

DXで市民・職員の負担軽減を
公明党/石松 和敏

問 今後のマイナンバーカード交付率の見込みは。

答 まずは80%を超えるよう努めていきたい。

有害鳥獣対策について
宗像志政クラブ/木藤 裕司

問 総合的な鳥獣対策の考えは。

答 捕獲従事者や地域住民の意見を聴取しながら、鳥獣捕獲の効率化への取り組みを検討しよう。

アフターコロナの経済対策
宗像志政クラブ/石田 和代志

問 チャットGPTの活用について

答 チャットGPTなどの生成AIは、今後自治体においても普及していくと考ええる。チャットGPTの活用について

地域伝統行事の継承は
宗像志政クラブ/吉田 剛

問 コロナ禍は地域伝統行事の存続危機と継承する価値を明らかにした。

答 継承に向けた国の支援制度の情報提供や手続きの支援などに努めたい。

大島港ターミナル付近の混雑解消について
宗像志政クラブ/小林 栄二

問 混雑解消に向けての課題は。

答 雨の日や荷物が多いうちに車両が集中し、人の往来に危険が生じているため、利便性を損なうことがないよう、島民を中心に協議を進め、理解や協力をしてもらう必要がある。

有償ボランティアの活用について
宗像志政クラブ/石田 和代志

問 有償ボランティアの活用について

答 有償ボランティアの活用について

出島形式の空間スペース
宗像志政クラブ/木藤 裕司

問 出島形式の空間スペースを整備することはできないか。

答 地元と十分協議し、最善の対策を考えていきたい。

チャットGPTの活用について
宗像志政クラブ/石田 和代志

問 チャットGPTなどの生成AIは、今後自治体においても普及していくと考ええる。チャットGPTの活用について

答 チャットGPTなどの生成AIは、今後自治体においても普及していくと考ええる。チャットGPTの活用について

DXで市民・職員の負担軽減を
公明党/石松 和敏

問 今後のマイナンバーカード交付率の見込みは。

答 まずは80%を超えるよう努めていきたい。

(※2) オーガニックビレッジ：有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き込んだ地域ぐるみの取り組みを進める市町村のこと。
(※3) 環境保全型農業直接支払事業：有機農業や環境負担軽減の取り組みを行う生産者に交付金を交付し、支援する事業。



有機農業の推進とより良い食を
ふくおか市民政治 ネットワーク
／箕井 香奈枝



問 みどりの食料システム戦略を踏まえた今後の農業への支援は。
答 今年度から国の補助制度を活用して、有機農業を行う農家の経営安定化や同様の取り組みを行う農家の増加につなげた。

問 優れた指導者を呼んで、有機農業の講習会を開催してはどうか。
答 有機農業の専門機関による講習の実施や相談窓口設置を検討したい。

問 オーガニックビレッジ(※2) 宣言に関する市の考えは。
答 有機農業の拡大には

問 有機農業の専門機関による講習の実施や相談窓口設置を検討したい。
答 有機農業の拡大には



有機農業の畑



大学生の力でまちの活性化を
未来保守クラブ／森田 卓也



問 「大学生の力によるまちの課題解決プロジェクト」の狙いは何か。
答 大学生の自由な発想や知見を生かし、本市が抱える課題の解決や地域の活性化を図ること。

問 本プロジェクトの継続により市全体に期待している影響や効果は。
答 課題解決だけではなく、若者による市内での創業や定住人口、関係人口の増加といった副次的効果も期待している。

問 高齢化が進み、地域だけでは解決できない課題も増えた。より地域の課題解決に直結した事業の取り組みは。
答 導入を検討したいと考えているが、まずは市内を中心に、安定的に納入できる事業者やその品目の把握に努めている。

問 高年齢化が進み、地域だけでは解決できない課題も増えた。より地域の課題解決に直結した事業の取り組みは。
答 導入を検討したいと考えているが、まずは市内を中心に、安定的に納入できる事業者やその品目の把握に努めている。



大学生による作品展示の様子



公園などの維持管理について
日本維新の会／岩岡 良



問 昨年の議会にて住民と行政の負担軽減のため公園などにロボット草刈り機の導入を提案したが、進捗はどうか。
答 宗像中央公園野球場で、ロボット草刈り機の実証実験を行った。草刈り自体は問題なく完了したが、価格が高いため導入の課題がある。

問 将来的に価格が下がれば導入可能か。
答 技術の進歩や需要の増加により、安価になると予想されるため、将来的には活用できることを期待している。

問 空き地の代執行は条件が厳しく、全国的にも例が少ないため難しいが、空き地の定義を含め、実施自治体を調査研究する。
答 空き地の代執行は条件が厳しく、全国的にも例が少ないため難しいが、空き地の定義を含め、実施自治体を調査研究する。

問 空き地の代執行は条件が厳しく、全国的にも例が少ないため難しいが、空き地の定義を含め、実施自治体を調査研究する。
答 空き地の代執行は条件が厳しく、全国的にも例が少ないため難しいが、空き地の定義を含め、実施自治体を調査研究する。



市独自の子育て支援策を求める
日本共産党／新留 久味子



問 平成30年度と令和4年度の出生数は。
答 30年度は809人、4年度は627人である。

問 減少傾向の出生数を増やす具体的な施策は。
答 妊産婦に寄り添った細やかな子育て支援策が重要と考える。

問 ベビーベッドのレンタル支援や1歳未満児に
答 平成30年度と令和4年度の出生数は。30年度は809人、4年度は627人である。減少傾向の出生数を増やす具体的な施策は。妊産婦に寄り添った細やかな子育て支援策が重要と考える。



投票率向上のために
本市では投票率が4割に満たない選挙もある。病院や高齢者施設で投票できる不在者投票指定施設を増やせないか。
答 対象施設数調査や施設の意向を踏まえて、制度周知や助言を行いたい。

問 山間部などでの移動式投票所の検討は。
答 先行事例を参考に、引き続き研究したい。

問 山間部などでの移動式投票所の検討は。
答 先行事例を参考に、引き続き研究したい。

問 山間部などでの移動式投票所の検討は。
答 先行事例を参考に、引き続き研究したい。



マイナンバーカードの安全性
市民連合／福田 昭彦



問 マイナンバーカードは、本人確認としての利用だけでなく、各種行政手続きのオンライン申請、健康保険証としての利用など日常生活の中で利用できる機会が広がってきている。しかし、たった一枚のカードにたくさんの情報がひも付けされるため、個人情報の漏洩が心配されている。最近、マイナンバーカードの事故が多発しているが、本市のカード運用上の安全性について問う。
答 本市ではコンビニでの証明書類発行は発生しておらず、国民健康保険、

問 公金受取口座についても別人とのひも付けは確認されていない。また、マイナンバーカードには個人情報などプライバシー性の高い情報は記録されておらず、ICチップ内の情報を無理に取り出そうとすると壊れる仕組みになっており、安全性は確保されていると考える。
答 この質問は6月13日に行ったものです。その後、6月28日に証明書類発行が発生したと市から議会へ報告を受けました。



安心して免許返納できる宗像市に
日本共産党／川内 亮



問 本市では、約3人に1人が65才以上の高齢者で、運転免許証を返納し車を持たない市民が増えている。しかし、バスが来るまで立って待っているのがしんどい。バス停まで歩いて行けないなどの理由から、通院や買い物にタクシーを利用している市民も多く、経済的負担は大きい。
答 安心して運転免許証を返納できるよう、高齢者の移動支援策を拡充すべきでは。

問 運転免許証の自主返納支援事業については、ふれあいバス、コミュニティバスの回数券のほかに、市内タクシー会社で使える回数券、一モ力カードそれぞれ1万円相当分のいずれかを選択できるようにするなど充実を図っている。高齢者の交通安全の面からも事業がより効果的なものになるよう、警察署をはじめ関係機関と協議を進めている。
答 伴走型相談支援に関する保健師、助産師の確保はできているか。
答 保健師1人、助産師8人の9人体制で対応している。助産師2人を新たに任用したことで、ほぼ全ての妊産婦や子どもと対面でき、問題なく事業が実施できている。

問 令和4年4月から拡充した産後ケア事業に加
答 令和4年4月から拡充した産後ケア事業に加



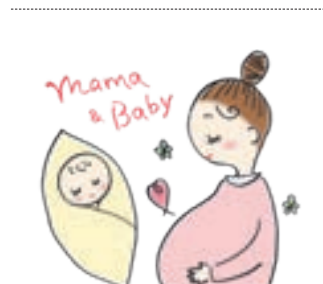
市民が望む子育て応援事業を
公明党／岡本 陽子



問 子ども家庭センターを中心に、今年2月から伴走型相談支援、経済的支援(出産・子育て応援ギフト)を開始したが、市民が望む支援ができていないか。
答 来年度は取り組んでいきたい。

問 来年度は取り組んでいきたい。
答 来年度は取り組んでいきたい。

問 来年度は取り組んでいきたい。
答 来年度は取り組んでいきたい。



食育・地産地消のさらなる推進を
宗像志政クラブ／井浦 潤也



問 学校給食の安心は、地産地消が基本と考えるが、本市の実態は。
答 令和4年度の学校給食での宗像地区産物の利用割合は平均22.58%、県産物が平均37.5%。県内では上位である。

問 学校給食の安心は、地産地消が基本と考えるが、本市の実態は。
答 令和4年度の学校給食での宗像地区産物の利用割合は平均22.58%、県産物が平均37.5%。県内では上位である。

問 学校給食の安心は、地産地消が基本と考えるが、本市の実態は。
答 令和4年度の学校給食での宗像地区産物の利用割合は平均22.58%、県産物が平均37.5%。県内では上位である。

問 学校給食の安心は、地産地消が基本と考えるが、本市の実態は。
答 令和4年度の学校給食での宗像地区産物の利用割合は平均22.58%、県産物が平均37.5%。県内では上位である。



企業誘致の取り組みは
企業誘致では、誘導可能な区域の確保と民間の未利用地へのアプローチが必要と考えるが、限られた民間の未利用地を最大限活用し、誘致への柔軟な対応と地元との調整を行いたい。
答 それを受け、本市は標準利用期間を半年以内とし実施しているが、他市では1年以内としたところも多い。本市も1年以内に変更できないか。
答 先生が子どもの特性に応じた対応ができるようになるための短期的支援であり、1年という中長期的設定はなじまないと判断し、短期的スタンプアップ支援として半年以内で設定している。

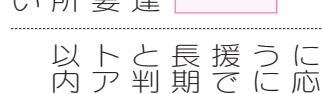
問 先生が子どもの特性に応じた対応ができるようになるための短期的支援であり、1年という中長期的設定はなじまないと判断し、短期的スタンプアップ支援として半年以内で設定している。

問 先生が子どもの特性に応じた対応ができるようになるための短期的支援であり、1年という中長期的設定はなじまないと判断し、短期的スタンプアップ支援として半年以内で設定している。

問 先生が子どもの特性に応じた対応ができるようになるための短期的支援であり、1年という中長期的設定はなじまないと判断し、短期的スタンプアップ支援として半年以内で設定している。



地域猫活動の推進と支援策は
宗像志政クラブ／伊達 正信



問 市長は、地域猫活動団体支援策としてクラウドファンディング立ち上げを担当課へ指示した。その後の経過は。
答 今年度、募集期間を8月10日まで、目標金額を240万円に設定しクラウドファンディングを開始した。

問 今年度、募集期間を8月10日まで、目標金額を240万円に設定しクラウドファンディングを開始した。
答 今年度、募集期間を8月10日まで、目標金額を240万円に設定しクラウドファンディングを開始した。



子どもの健やかな育ちを願って
厚生労働省は、発達過程に特別な配慮が必要な子どものため、保育所等訪問支援を推進してい

問 厚生労働省は、発達過程に特別な配慮が必要な子どものため、保育所等訪問支援を推進してい